



平成 29 年度 日本分光学会年次講演会シンポジウム 「テラヘルツ分光技術の最先端応用」 開催のお知らせ

日時 2017 年 5 月 23 日(火) 9:30~16:50

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館

共催 早稲田大学理工学術院

協賛(予定を含む) 応用物理学会, 日本物理学会, 日本光学会, 日本分析化学会, 日本化学会, 日本生物物理学会, レーザー学会, 日本オプトメカトロニクス協会, 電子情報通信学会 テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会, テラヘルツテクノロジーフォーラム, 日本赤外線学会, (株)オプトロニクス

ホームページ <https://www.bunkou.or.jp/index.html>

参加費

	正会員	非会員	学生会員	学生非会員	シニア会員
事前登録	7,000 円	11,000 円	0 円	3,000 円	2,000 円
当日登録	9,000 円	13,000 円	1,000 円	4,000 円	3,000 円

なお, 日本分光学会 学生会員年会費は, 2,400 円です. また, 協賛学会の会員の方は, 会員価格で参加していただけます.

概要

テラヘルツ(THz)分光法は, およそ 10 の 11~13 乗 Hz 電磁波を使う分光法ですが, 物質透過性と分子間振動の指紋情報が得られることから, 材料化学・生命科学・医薬品分析・医療診断などへの応用研究が広がり, 多変量解析法や量子化学計算などの理論的スペクトル解析方法も進歩してきました. また, マイクロ波分光と赤外分光をつなぐブロードバンド分光として生体分子の水素結合ネットワークの議論も盛んになってきています. 本シンポジウムではテラヘルツ分光の最新のトピックスとして, テラヘルツ・メタマテリアル, 高強度 THz 波応用, バイオ・メディカル応用, 水素結合ネットワークの検出技術, IoT 分野に向けた医薬品などの検査技術, テラヘルツ帯のラマン分光に相当する低波数ラマン分光法などをとりあげます. これらトピックスに対応した招待講演を企画するとともに, テラヘルツ分光に関する一般講演を募集いたします.

招待講演者: 島野 亮(東京大学), 岡島 元(青山学院大学), 坂本 知昭(国立医薬品食品衛生研究所), 永井 正也(大阪大学), 白神 慧一郎(京都大学), 山本 茂樹(大阪大学)

プログラム <http://www.bunkou.or.jp/terahertz/>

日本分光学会年次講演会シンポジウム テラヘルツ分光技術の最先端応用

2017年5月23日(火) 早稲田大学西早稲田キャンパス63号館

		講演者	所属	講演題目
9:30-10:10	招待講演1	島野 亮	東京大学	強度テラヘルツ波が拓く固体物性研究の新展開
10:10-10:50	招待講演2	岡島 元	青山学院大学	近赤外共鳴低振動数ラマン分光による非局在電子を伴う大振幅振動の分析
10:50-11:10	休憩			
11:10-11:50	招待講演3	坂本 知昭	国立医薬品食品衛生研究所	医薬品の革新的製造技術の進展及び最新の品質保証における分光分析の役割と展望
11:50-12:30	招待講演4	永井 正也	大阪大学	高強度ピコ秒テラヘルツパルスにおける非共鳴電子駆動と共鳴分子駆動
12:30-1:30	ランチ			
1:30-14:50	ポスター・展示			
14:50-15:10	一般講演			
15:10-15:50	招待講演5	白神慧一郎	京都大学	広帯域テラヘルツ分光を用いた細胞内水の評価
15:50-16:10	一般講演			
16:10-16:50	招待講演6	山本 茂樹	大阪大学	量子力学計算による結晶性ポリエステル低周波振動の帰属と高次構造相関

- ・ シンポジウム(日本語)「テラヘルツ分光技術の最先端応用」
- ・ 国際シンポジウム「ラマン分光のバイオ応用展開」
- ・ 特別テーマ「R&Dにおける分光分析」
- ・ 一般分野(近赤外, 顕微, 表面界面, 高分解能, 細胞・生体物質, 核磁気共鳴, 赤外・ラマン分光, テラヘルツ分光, 非線形レーザー分光, その他)

上記の分野に関して, 口頭発表とポスター発表を募集します. なお, 国際シンポジウムは英語, その他については英語または日本語での発表になります. 口頭発表の時間は 20分(講演 15分, 質疑応答・交代 5分)の予定です.

また, 若手研究者の口頭発表とポスター発表の中から優秀な発表を表彰します. 5月25日(木)午後には表彰式を行う予定です.

講演申込期間 平成 29年 2月 13日(月)~4月 7日(金)

講演要旨受付期間 平成 29年 2月 13日(月)~4月 17日(月)

事前参加申込期間 平成 29年 2月 13日(月)~5月 12日(金)

企画担当

宮丸文章 (信州大学 理学部)

保科宏道 (理化学研究所)

谷正彦 (福井大学 遠赤外領域開発研究センター)

問い合わせ先 味戸克裕 (日本電信電話(株) ajito.katsuhiko@lab.ntt.co.jp)